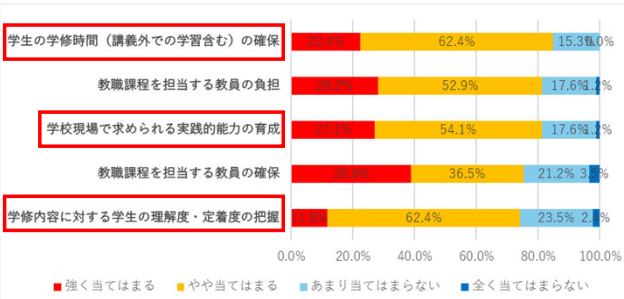


デジタル技術を活用した教職課程及び初任者研修における学びの質保証の在り方についての調査研究(結果概要)

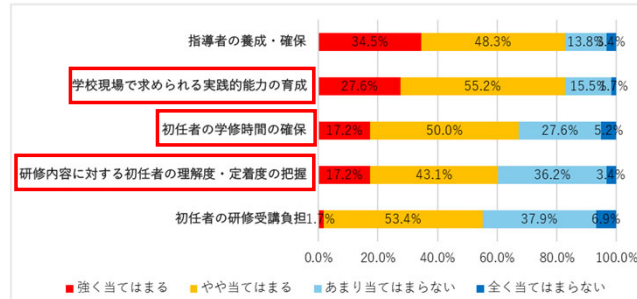
<調査の趣旨>

中教審教員養成部会での議論を踏まえ、大学における教職課程及び入職後の初任者研修において、デジタル技術を活用したより効果的・効率的な学修(研修)方法の在り方を模索し、教師として共通的に身につけるべき知識・技能の習得支援を行うシステムに関する機能や要件等の検討を行う。

教職課程・初任者研修における課題(アンケート調査)



教職課程における課題(上位5項目)



初任者研修における課題(上位5項目)

デジタルを活用するメリット(ヒアリング調査)

- ▶ 時間や場所に捉われない学びが可能になることで、開放制学部が教職課程を履修しやすくなり、多様な専門性を持った教員集団の形成に近づく
- ▶ 学修履歴が蓄積されることで、学生は学びの進捗を客観的に把握し、教員は指導の内容をきめ細かく設計できる
- ▶ オンデマンド型研修で理論的な内容を習得し、遠隔・集合研修で他者との対話を通じた学びを行うことで、理論と実践を往還した学びが実現可能
- ▶ 基礎的な知識はCBTで繰り返し問題を解くことで効率的に習得が可能

【システムの設計コンセプト】

基礎的な知識・理論の習得と定着を支援し、学校現場での実践と結びつける「理論と実践の往還」を促進する教育基盤

システムに必要と考えられる機能

- ▶ オンデマンド教材配信機能・視聴機能
- ▶ 知識の定着を確認するテスト機能(CBT)
- ▶ 学修内容・テスト成績記録機能
- ▶ 受講状況(進捗/受講時間)の可視化機能
- ▶ 携帯端末から時間・場所を問わずアクセスする機能

| 課題 | 対応策 |
|-------------------------|--|
| 費用負担 | 利用大学数や各大学の学生数に応じた柔軟な費用負担体系を構築 |
| 業務負担(データの重複入力・コンテンツ作成等) | インポート・エクスポート機能によるシステム間連携、全国で共同利用可能なコンテンツの搭載 |
| 学修内容の画一化とコンテンツの質担保 | コンテンツ内容を柔軟にカスタマイズできる仕様設計、学習コンテンツの質保証の仕組みを構築 |
| セキュリティ・個人情報保護 | ISO/IEC 27001認証・ISO/IEC 27017認証等の準拠、機密性を担保するアクセス権限設定 |

※令和7年度文部科学省委託「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」